

日時: 2014年10月24日(金) 18:00-19:30 場所: 神奈川大学 7号館 734号室

◆主催: 防災塾・だるま 司会: 小原さん 記録: 中島さん

◆談義の会参加者: 会員 29名 一般 26名 (講師を含む) 計 55名 (敬称略)



★今日の話のポイント  
土石流の言い伝えが風化  
伊豆大島:「ビヤク」を忘れていた

《大規模土砂災害に関するメッセージ》

■大規模土砂災害は、いろいろな要因で起こっている。歴史を振り返り、その災害に備える心構えが必要。



荏本塾長の挨拶

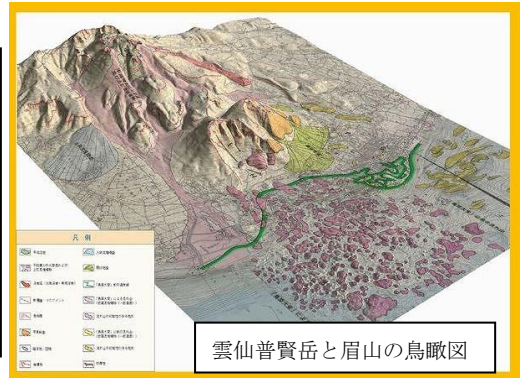
テーマ: 歴史的な大規模土砂災害の事例紹介

講師: 井上 公夫 氏(一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構)

《地震・火山噴火によって土砂流出・天然ダムの形成》

◆フォッサマグナと呼ばれる大地溝帯が本州中央部を南北に走り、大規模土砂移動(深層崩壊)が多く発生している。

◆土砂流出・天然ダム誘因の災害: 姫川源流部・青木湖、千曲川の天然ダム決壊、宝永大地震(1702年)時の大規模崩壊、酒匂川の氾濫、信州大地震と天然ダムの崩壊、などなど



雲仙普賢岳と眉山の鳥瞰図

《美しい三保の試練 山北町立三保中学校(1972年)》

1972年7月12日神奈川県山北町三保・清水・共和地区を中心とした集中豪雨は、数時間で500mmを超え、激甚な被害を与えた。

「まだ、ほの暗い朝、父が一生懸命に、家の方へ流れてくる水をせき止めていた。その時一度目のビヤクが来た。おじいちゃんは、ものすごい声を張り上げて、父にビヤクがきたぞー早く逃げろーといった。

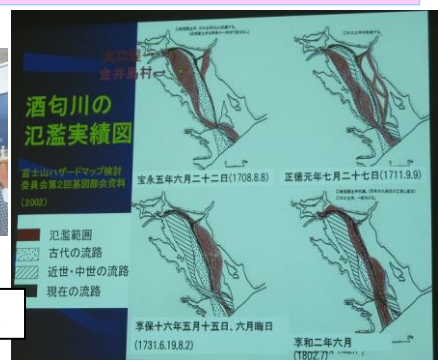
幸いにも私の方へは来なかったが、同じ場所から二度目のビヤクが出た。・・・」

(三保中学校生徒の体験談より)

●用語 ビヤク=山津波、崖崩れ



資料は、当日講演資料から抜粋しました



次回(第113回)のご案内

・日時: 11月28日(金)18時~19時30分 ・会場: 神奈川大学 1号館301号室

・話題: 市民からの報告 ~岩手県山田 四年目のジレンマ~ ・講師: 浦辺利広・佐々木義雄両氏 (だるま会員)